

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	聖十字放課後等デイサービス希望の家			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		～	2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		～	2025年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフは医療福祉教育の専門職で構成されており、各専門分野の知識を共有しながら連携・協働して支援ができている	・こまめに情報共有を行い、柔軟に利用児童の状態についてアセスメントをしている ・自己研鑽を積極的に行っている	知識や支援技能をアップデートする機会を持ち続ける（例：研修会の開催）
2	利用児童のより良い発達を支える幅広いプログラムが提供できる	・積極的に情報収集をする ・プログラムを実施する際は事前に勉強会を行い、スタッフの不安を軽減する ・その時々利用児童の反応を見て、プログラムの内容や進め方を適宜修正する	・利用児童や保護者の意向調査を行う ・スタッフ間での振り返りを充実させる
3	利用児童の特性や意向を尊重しつつ、保護者が安心できるような支援を検討することが出来ている	・まずは関係性構築を丁寧に行うように心がける ・HUGや電話、対面でのやり取りをこまめに行う	・自分の考えや気持ちを表現しづらい状態の方に対する意思決定支援の方法を学ぶ ・利用児童や保護者と話す機会を増やす

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童や保護者が地域の他の子どもと一緒に活動する機会が少ない	事業所内での活動内容を充実させることに意識が向いていた	「どんなことがしたいか」などを利用児童本人に聞いて、計画と一緒に建てる
2	非常時の対応など、利用児童や保護者に対する情報発信が不足している	情報発信の体制や手続きを十分に取ることが出来ていなかった	・HUGやSNSでの情報発信を増やす ・発信が必要な情報をまとめ、発信の仕方を整備する
3	保護者同士で交流したりペアレントトレーニングを提供したりする機会が不足している	どのような企画が適しているかという案を考えるまでに留まり、具体化までに至らなかった	・定期的な実施が出来るような計画を大枠で立てる ・実施できた場合には、その都度保護者の希望を確認する